

2 宗谷の開拓を大きく進めた 梨本 弥五郎

【中学校第3学年の実践】

1 主題名

自分の意志をもちやり抜くために【A 希望と勇気、克己と強い意志】

2 教材

宗谷の開拓を大きく進めた 梨本 弥五郎（北海道版道徳教材（中学校用））

3 主題設定の理由【指導観】

(1) ねらいとする道徳的価値について【価値観】

希望と勇気、克己と強い意志とは、より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやりとげようとすることであり、そのためには、自分自身の弱さに打ち勝ち、一つの目標に向けて、計画的に実行していくことが必要である。

第3学年の指導に当たっては、設定した目標の実現に向けて努力した体験を振り返り、目標の達成には何が必要かを考えさせたり、目標の実現には困難や失敗を乗り越えることが必要であると実感させ、困難や失敗を乗り越える自分なりの方法について考えさせたりすることが大切である。様々な人の生き方に学びながら、生涯をかけての理想や目標を持ち、困難や失敗を乗り越えて挑戦し続けることが、日々の生活を充実させることにつながるとともに、文化や社会の発展を支える力となってきたことにも気付かせることを通して、より高い目標に向かって努力を重ね、人生の理想や目標を達成しようとする態度を育てていきたい。

(2) 生徒の実態【生徒観】

最初は希望に燃え、将来に向けて大きな目標を立てるが、様々な事情から理想や計画どおりにいかない現実苦しむ生徒も少なくない。失敗や困難に直面しても何度も挑戦したり、あきらめずに、目標に向けてやり続けたりする意欲や態度を育てるために、道徳の時間（H31からは道徳科）以外では、次のような指導を行っている。

①総合的な学習の時間「地域活動」

課題を見付け、協力して解決する力を育成するために、地域活動を題材として生徒が探究課題を設定し、どのように解決するか生徒同士で話し合いながら学習を進めるなど、「学び合うこと」や「力を合わせることを重視して学習を進めている。生徒は、仲間と協力し、互いに励まし合いながら目標達成に向けて努力を重ねることができるようになってきた。今後は、失敗や困難に直面したときに、達成に向けて粘り強く取り組もうとする態度を育てる必要がある。

②特別活動「進路を考える」

望ましい勤労観・職業観の形成に向けて、自分の進路について考える学習活動を行っている。その際には、自分が設定した目標に向けて、学校や家庭での学習や生活の状況を見つめ直し、課題や改善点について考えたり、それを実行するために必要なことを考えたりする活動を意図的に設定している。計画的に取り組むことができる生徒がいる一方で、意志が続かず、途中で取組をやめてしまう生徒の姿が見られることから、今後は、目標達成に向けて粘り強く取り組むことの大切さを感じられるよう指導する必要がある。

これらの取組を通して、設定した目標に向けて努力を重ねることができるようになってきたが、一方で、困難や失敗をきっかけに目標の達成に向けて努力を続けることをやめてしまうなど、粘り強さに課題のある生徒の姿が見られることから、本時の学習では、梨本

弥五郎の立場に共感しながら、様々な困難や失敗に出会っても、自分が立てた目標達成に向けてやり遂げるためには何が必要で、何を大切にしていけるかを考え、希望と勇気をもって困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げようとする実践意欲を育てたい。

(3) 教材について【教材観】

困難があっても、目標の実現に向けて、自分の意志を明らかにしてやり抜くことの大切さについて多面的・多角的に考えさせるために、宗谷の開拓を進めた梨本弥五郎の立場に共感させながら話し合い、価値理解・人間理解・他者理解を深めさせる。

本時においては、中心的な発問とそれを効果的にするための基本発問を次のとおり設定する。

1 「◎中心的な発問」の場面

→弥五郎が困難に立ち向かう場面

◆意 図：渡航が困難な海を渡り、宗谷に赴任し、厳しい寒さを乗り越えて開拓に尽力した弥五郎の功績に触れ、弥五郎が困難に勇気をもって立ち向かうときに大切にしていた気持ちを多面的・多角的に話し合うことを通して、価値理解や他者理解を深めさせるとともに、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げようとする意欲を高めたい。

予想される考え：困難に出会っても、なんとかして乗り越えようとする気持ち

継続して努力しようという気持ち

信頼できる仲間をつくり、ともに目標に向かって努力する気持ち

2 「○基本発問」の場面

→弥五郎が岬の岩に向け銃を撃った場面

◆意 図：迷信にとらわれず、勇気をもって渡航が困難な海を渡った場面の弥五郎の気持ちについて、自分との関わりで考えさせることで、困難に立ち向かう時の立場に共感させ、人間理解を深めさせたい。

弥五郎の気持ち：勇気を振り絞ってがんばろうと仲間を励ます気持ち

迷信に負けていてはだめだなと自分を励ます気持ち

絶対に神威岬を渡るという強い気持ち

→弥五郎が「自分たちの力でカッヘルを作ろう」と決断した場面

◆意 図：寒さの厳しい宗谷での越冬のため、アイヌの人たちと力を合わせてストーブを制作することを決断した弥五郎の気持ちについて話し合うことを通して、価値理解や他者理解を深めさせたい。

弥五郎の気持ち：ここで諦めると今までの苦労が水の泡となる。

まわりに手を貸してくれる仲間（アイヌの人たち）がいてよかった。

自分たちで作るという選択肢しか残されていないから、がんばろう。

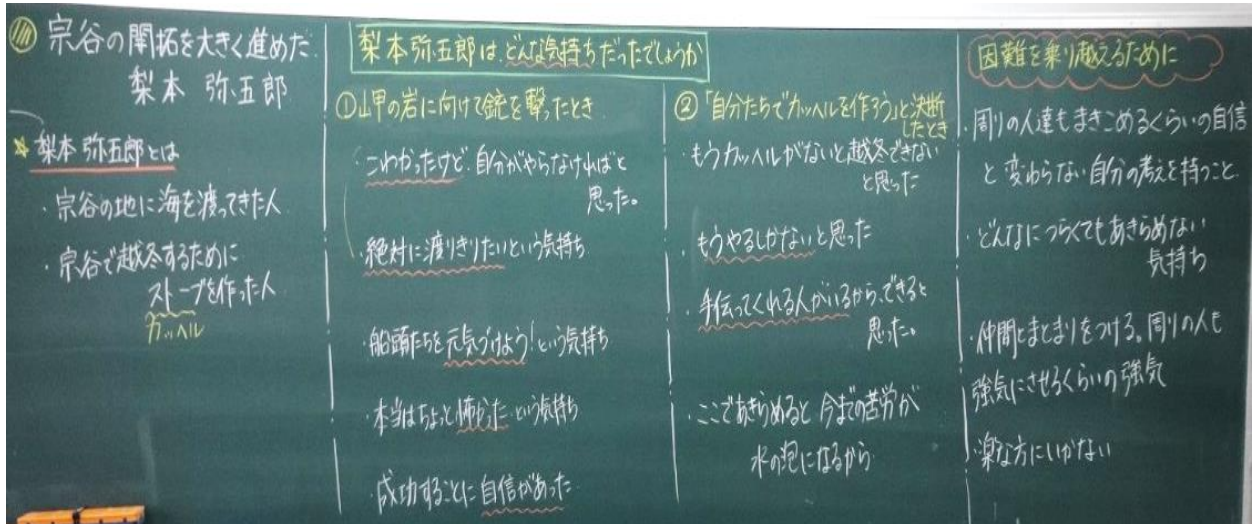
4 ねらい

梨本弥五郎の生き方に触れることを通して、自分で決めた目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり遂げようとする態度を育てる。

5 学習指導過程

	●学習活動 ○主な発問 ◎中心的な発問 ・子どもの反応	・指導上の留意点 ■評価	「考え、議論する道徳」 に向けた工夫
導 入	● これまでの生活を振り返る。 ○ 今までの生活の中で、目標を立てて行動したことはありますか。 ・ 目標のために、部活動の練習に一生懸命取り組んできた。 ・ 将来のために勉強をがんばりたいと思っているが誘惑に負けてしまう。	・ これまでの成果を振り返り、ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。	【工夫①】 ・ 授業で扱う道徳的価値について、今の自分が考えていることを日常生活の経験を基に考えさせる。
展 開	● 梨本弥五郎の紹介をする。 ● 教材「宗谷の開拓を大きく進めた」を読み、話し合う。 ○ 弥五郎が岬の岩に向け銃を撃ったとき、どんな気持ちだったでしょうか。 ・ 勇気を振り絞ってがんばろうと仲間を励ます気持ち。 ・ 迷信に負けていてはだめだなと自分を励ます気持ち。 ・ 絶対に神威岬を渡るという強い気持ち。 ○ 弥五郎が「自分たちの力でカッヘルを作ろう」と決断したとき、どんな気持ちだったでしょうか。 ・ ここで諦めると今までの苦労が水の泡となる。 ・ まわりに手を貸してくれる仲間（アイヌの人たち）がいてよかった。 ・ 自分たちで作るという選択肢しか残されていないからがんばろう。 ◎ 弥五郎が困難に立ち向かうときに大切にしていた気持ちは、どのようなものでしょうか。 ・ 困難に出会っても、なんとかして乗り越えようとする強い気持ち。 ・ 継続して努力しようという気持ち。 ・ 信頼できる仲間をつくり、ともに目標に向かって努力する気持ち。	・ 弥五郎が困難に出会ったときの立場に共感させ、自分や仲間に対する気持ちを話し合い、人間理解を深めさせる。 ・ 弥五郎が困難に直面したときの感じ方や考え方について話し合うことで、価値理解を深めさせる。 ・ 目標に向かってやり遂げるために必要なことを考え、話し合うことを通して、価値理解・他者理解を深めさせる。	【工夫②】 ・ 教材を読んだ後に、主人公の立場に共感して、考えを深められるよう、教材を読む前に、主人公の経歴を紹介するとともに、個人で考えたり、ペアやグループで話し合ったりする活動を十分に確保できるようにする。 【工夫③】 ・ 隣同士のペア交流や前後のペア交流の後、中心的な発問では、グループでの交流を行うなど、少しずつ交流する人数を増やし、多様な意見に触れさせ、他者理解とともに、価値理解の深化を促す。
	● 自己を見つめる。 ○ 今までの生活の中で、目標達成を目指してやり遂げることの大切さを感じたことはありますか。 ・ テストに向けて目標を決めて努力したこと。 ・ 部活動で、優勝を目指して仲間と協力して練習したこと。 ・ 習い事での昇級に向けて、一度不合格になってくじけなかったこと。	■ 自分の目標や夢に対して前向きに捉え、やり遂げることの大切さについて、自分との関わりで考えを深めることができたか。	【工夫④】 ・ これまでの生活を振り返り、目標の達成に何が必要かを考えたり、自らの歩みを自己評価できるようにしたりする。
終 末	● 授業の振り返りをする。 ○ 今日の授業の感想を書きましょう。 ● 教師による説話を聞く。 ※教師の経験から、困難に立ち向かい、それを乗り越えた時の気持ちやその後の様子についての話をする。	・ 困難や失敗を乗り越えてやり遂げようとする実践意欲が育まれるようにする。	【工夫⑤】 ・ 授業を振り返りながら自分自身が考えや成長できたことを書かせる時間を設定する。

6 板書



7 ノート・ワークシート

平成30年度 稚内市立稚内高等学校 3学年 道徳 ワークシート

● 生き方見つけめノート 「宗谷の開拓の一步を切り拓いた 梨本弥五郎」

【考えよう】 努力して成し遂げたこと、あるいは途中でくじけてしまったことはありますか。

・フットボールで「級を上げ」ること
・バレーボールで優勝したこと

◆ 「宗谷の開拓の一步を切り拓いた 梨本弥五郎」を読んで、考えたことを交流しましょう。

○ 次の場面で梨本弥五郎はどんな気持ちであったか考えてみよう。

(1) 山甲の岩に銃を撃ったとき

絶対に神威山甲を渡るという強い気持ち

(2) 「自分達でカッヘルを作ろう！」と決断したとき

とは
言ったものの、前例のない北洋火に
かなり不安な気持ち

★ 困難を乗り越えるために

困難に打ち勝つ勇気、努力

【授業実践を振り返って】

困難があっても、目標の実現に向けてやり遂げようとする大切さについて多面的・多角的に考えさせるため、発問を吟味し、弥五郎が迷信にとらわれずに神威岬を越えた場面と、越冬するために自分たちの力でカッヘルを作ろうと決断した場面の2つの場面の弥五郎の立場に共感させるとともに、困難に立ち向かう際に弥五郎が大切にしていた気持ちについて考えさせました。

生徒からは、

- ・自分も怖いけど、ここで引き返したら何もできないから勇気を出そう。(勇気)
- ・宗谷の人や、部下たちのためにも、絶対にカッヘルを完成させたい。(強い意志)

などの発言が見られ、「勇気と希望」「克己と強い意志」に関連する道徳的価値を自分との関わりで多面的・多角的に考えながら、困難に立ち向かい目標や夢を達成することについて考えを深めることができました。